

# ODA

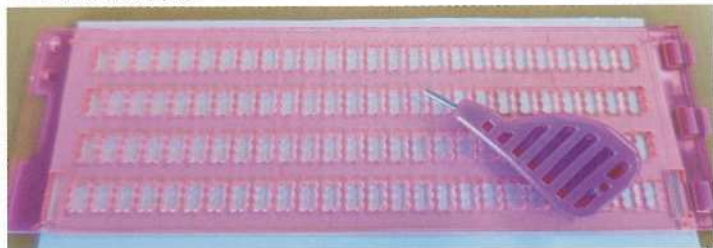
発行 社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会  
 編集 沖縄県障害者社会参加推進センター  
 〒901-0516 沖縄県島尻郡八重瀬町字仲座 1038 番地 1  
 TEL(098)851-3455 FAX(098)851-3855  
 ホームページアドレス <https://www.okisin.jp>  
 Eメールアドレス [okisinky@blue.ocn.ne.jp](mailto:okisinky@blue.ocn.ne.jp)  
 頒価一部100円（会費に含まれています）

## 沖縄県障害者社会参加推進センターだより 第65号

### 沖縄県視覚障害者福祉協会

令和5年度 点訳奉仕員養成講習会・音訳奉仕員養成講習会

沖縄県障害者社会参加促進事業の一環として、沖視協が主催する「第56期点訳奉仕員養成講習会」及び「第74期音訳奉仕員養成講習会」がスタートしました。



点字図書館は公共図書館と違い、本の貸し出しだけでなく、貸し出しする点字図書や録音図書の製作も行っています。その製作に携わるボランティアの養成が講習会の目的となっています。

これまで、点訳講習会・音訳講習会それぞれ受講生を募集し開催していましたが、今年度は新たな取り組みとして、点訳・音訳合同で講習会開催前に事前説明会を行いました。

事前説明会では、沖縄点字図書館の紹介、視覚障害者について、点訳・音訳について、講習会の流れや日程の内容について説明を行いました。

点訳・音訳と聞くと、書かれている文字を点字にしたらいいのだろう、読んだらいいのだろうと思いがちです。しかし、点訳や音訳の活動は、本に書かれている文字だけを単純に点字に訳したり・音声に訳したりするものではありません。写真やイラスト、グラフや表などの情報も、目の代わりになって点字にしたり、音声に変えたりする必要があること等を紹介しました。参加者の積極的な質問もあり、事前説明会の開催に手ごたえを感じました。

点訳講習会は、6月16日（金）から全30回。音訳講習会は、6月21日（水）から全20回の開催予定です。これから数か月、色々なことを学び、点字図書館のボランティアとして活動できる日を目指し、最後まで頑張ってください。

### 沖縄県精神保健福祉会

『入院患者に対する地域生活体験事業』のご案内

沖縄県からの委託を受けて、沖福連が実施している事業に、『精神障害者入院患者に対する地域生活体験事業』があります。

精神疾患で入院中の方が退院後の暮らしをイメージしていけるように、院外での様々な活動（たとえば喫茶店で過ごしたり、グループホームに宿泊してみたり、作業所で働くことを試してみたり、ということ）を実際に体験することができる事業です。

特に長期で入院されている場合だと、なにより本人のなかで「退院後の生活の不透明さ」について不安が大きくなっている方も少なくありません。退院した後に暮らす環境、お金のやりくり、家事や仕事などどれくらいなら自分でできそうか、どれくらいなら周囲のサポートを得られそうか……。ずっと入院してさまざまなことを手放していると、以前なら当たり前前にできていたことも、ひとつひとつが漠然とした不安に変わります。そうした「わからないがゆえの不安」が、もしもその方の退院を足踏みさせているのだとしたら、とてももったいないことです。

過去3年、コロナ禍では利用される方が少なくなりましたが、今年からまたたくさんの方の退院をお手伝いできればと願っています。

年度	利用者数	協力事業所	退院者数
2018	28名	19か所	8名
2019	33名	18か所	14名
2020	13名	10か所	3名
2021	10名	8か所	5名
2022	14名	13か所	1名

【お問い合わせ】沖福連（098-889-4011）



詳細はこちらから！





### 令和4年度 沖縄県障害者社会参加推進センター 事業報告

#### 【社会参加支援】

#### 1. 沖縄県障害者社会参加推進センター運営

障害者が自立した生活を営むことができるよう、障害の有無にかかわらず安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与することを目的として、県地域生活支援事業の実施、市町村地域生活支援事業の協力、各種団体の活動支援を実施した。

#### (1) 沖縄県社会参加推進協議会及び専門部会



センター事業の企画立案等のため、行政機関、身体、知的及び精神障害者団体により構成している協議会を実施した。

#### (2) 障害者110番事業

障害者及びその家族等の抱える人権問題及び生活支援等の各種相談に専任相談員が応じるとともに必要に応じて専門機関を紹介した。

#### 【日常生活支援】

#### 1. 音声機能障害者発声訓練



疾病等により喉頭を摘出し、音声機能を喪失した方々向けに、食道発声訓練等を毎月4~5回行い、述べ317名が参加した。

#### 【芸術文化活動】

#### 1. 第62回沖縄県身体障害者福祉展

令和5年2月1日(水)~2月5日(日)、中城村護佐丸歴史資料図書館において、芸術作品241点の展示を行なった。来場者は472名。併せてオンラインを活用したバーチャル展も行ない、期間内で870回の閲覧があった。



### 沖縄県手をつなぐ育成会

令和5年度定期総会



令和5年5月28日(日)13時30分より、沖縄県総合福祉センター内にて、令和5年度公益社団法人沖縄県手をつなぐ育成会定期総会を開催しました。

国の方針ではイベントにおける人数制限も規制が無くなりましたが、コロナウイルス感染症法上の位置づけが5類に移行後も、沖縄県内では感染者数が増加しています。

その為、医療関係者から強い警告が出されていることを重視し、重症化リスクが高いと推測される障がいのある方やご家族への感染防止を考慮し、昨年同様、出席者の少数化による運営を目的として、事前に総会資料を会員の皆様へ送付し、同意した委任状を主とした総会となりました。

今総会は通常と異なり、役員改選や、今年1月に行われた沖縄県公益法人立ち入り検査結果報告を行い、県より指摘を受けた是正改善指導事項の報告後、県育成会の反省による措置及び方針を報告しました。

全国的に高齢化による会員数の減少や、会場よりご指摘を受けた運営資金の圧迫による厳しい運営状況は、私たち県育成会の喫緊の課題であり、その原因追及やそれを打破する試みは新役員に託されております。

障がい者への差別や虐待問題に真摯に取り組む、障がいのある人の命の尊厳、人権擁護や活躍できる社会環境づくり等の共生社会の実現に向けて、総会で頂いたご意見やご指摘を真摯に受け止め今後の活動に邁進してまいります。

### 沖縄県友声会

音声機能障害者発声訓練及び個人指導・相談(発声塾)

このままでは終わりたくない！  
声は出る、絶対出る！  
リハビリは嘘をつかない！

喉頭がん、咽頭がん、舌がん、食道がん、甲状腺がん等による喉頭全摘者で音声機能障がいの方を対象に「発声訓練・個人指導等」を行っています。



【食道発声法・人工喉頭機・シャント発声】

塾長：田名 勉 講師：清 睦弘、稲福 政栄

開催日時	開催場所
毎月第1~4土曜日 (14:00~16:00)	サン・アビリティーズうらそえ (浦添市宮城4-11-1)



#### 【問い合わせ先】

・社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会  
TEL: 098-851-3455 FAX: 098-851-3855  
携帯: 090-8294-2290

E-mail: taiki10@okisin.jp

・沖縄県友声会 会長：田名 勉  
住所：沖縄市高原6丁目7番10号

### 沖縄県脊椎損傷者協会

公共施設のバリアフリー化アクション

不特定多数の県民が利用する公共的施設について、設計段階から障がい当事者の声を反映してほしいと行政にアクションしています。今回は2か所の公共施設についてバリアフリーチェック(意見提言含めて)をしたので報告します。

#### ①那覇市牧志公設市場

沖縄県民の台所といわれる施設。最近では観光客志向への変化もあり、観光資源としても重要な施設のため、設計時に意見提言をしていました。3月のオープンを抑えた2月に事前チェックをしました。基本的な構造はバリアフリーで安心しましたが、お粗末な整備もありました。「バリアフリートイレの手洗い場所の鏡が車椅子ユーザーは映らない」「補助犬トイレは専用化され整備されているが、段差と幅が狭く車いすユーザーは利用できない(補助犬=盲導犬として整備され、介助犬利用する車椅子ユーザーのことは視点が抜けたとのこと)」建設中でも継続的にチェックする必要性を強く感じました。



#### ②首里城復元に伴うバリアフリー対策の意見交換

令和5年2月28日に首里城でのバリアフリー現地視察&意見交換会が開催されました。これは2021年7月に沖脊協として、首里城復元の際には障害当事者の声を反映してほしいと要望書を提出していたことによる取組みで、沖縄総合事務局担当者の尽力によるものでした。現時点では車椅子対応の整備は対応しているようでホッとしましたが、点字情報含め、視覚障がい対応が不十分だと感じました。



#### ③障がい者駐車場を青色塗装しました

昨年7月から始めた「ちゅらパーキング制度」沖脊協の啓発活動として「青色塗装キャンペーン」を実施することになり、令和5年3月6日に伊良波中学校で第1弾を行ないました。沖縄県の「心のバリアフリー推進事業」の一環として企画提案し実現することができたもので、今後も継続して取り組みたいと思います。





### 日本オストミー協会 沖縄県支部

第35回全国大会/定時社員総会・支部長会議

今回の全国大会はコロナ禍の影響により開催予定地区での開催が困難になり、東京を開催地として令和5年6月18日(日)に、定時社員総会及び支部長会議を開催することになりました。オストメイトの会員との情報交換・交流会も無く、参加者は寂しげでした。

定時社員総会における議案は、原案通りに可決されました。支部長会議は各グループに分かれ(九州ブロック+四国ブロック)給付金の増額要望の状況報告がなされました。沖縄県支部は本島の市町村をすべて訪問し、主に担当課長や一部の議員に要望書内容を説明しました。各市町村障害福祉課に送付された『オストメイトの生活と福祉』が、オストメイトのアンケート調査のデータ(採用回収数3930部/会員1582部、非会員2196部、不明152部)をもとに作成されたことを伝え、オストメイトの状況を踏まえた給付額の見直しを訴えました。なお、離島に関しては関係書類を郵送しました。



全国の支部の課題である会員増加について沖縄県支部では、各市町村が給付券を送付する際に『オストメイトの皆さまへ(本部発行)』、『沖縄県在住のオストメイトの皆様へ』という書類の同封をお願いしていること、また、装具販売店には、装具配送の際に同対応をお願いしていることを報告しました。他支部では名刺にQRコードを印刷し、読み取ることで支部の活動を紹介できるようにし、看護師に配布をお願いしているところもありました。

必要最小限の全国大会でした。次年度は静岡県大会の予定です。静岡県支部長から「次年度はいつもの通りの大会にする」と宣言もありました。

また、皆さんと情報交換・交流ができる日を楽しみに待っています。



### 沖縄県身体障害者福祉協会

オストメイト社会適応訓練研修会

令和5年5月19日(金)、(株)琉球光和3階講堂にて、令和5年度生活訓練事業に伴うオストメイト社会適応訓練研修会を開催しました。



講師に公益社団法人 日本オストミー協会沖縄県支部 ノーフリート美奈子 事務局長を迎え『私の体験』というテーマで講演いただきました。

14歳でクローン病を発症し、毎朝痛み止めを打って登校する生活から、20代での出産後にストマー創設を行ない渡米したこと。アメリカと日本の装具の支給に対する違い(日本では装具が高く給料のほとんどが装具代に消えてしまう現状)を、お話いただきました。

また、自身の経験を活かした支援者として、病気で悩む人たち等のために活動したいという今後の展望を話され、研修会を終了しました。

### 障がい者110番

障がい者の人権を守り、生活を支援します

◆相談日: 月曜日~金曜日 9:00~17:00

【相談内容】人権問題・生活支援・医療福祉・その他障がい者自身または家族、友人や知人で悩んでいる方、困っている方などの相談。あなたの近所の方で悩んでいる、困っている方などの情報をお気軽にご相談ください。



【問い合わせ先・連絡先】

◆電話(FAX 兼用): 098-851-3910

◆メールアドレス: jimukyok14@okisin.jp

〒901-0516 沖縄県島尻郡八重瀬町字仲座 1038-1 (沖縄県障害者社会参加推進センター 相談室)



# おきしんきょう通信



— 沖縄県身体障害者福祉協会 —

経営理念

一、利用者本位

一、社会貢献

一、責任と実行

### 令和5年度(第1回) 【みやらびカップ】モルック大会



沖縄県身体障害者福祉協会では令和4年度に『法人創立50周年記念』としてチャリティーモルック大会を3度開催しました。



令和4年度の様子

その後、参加団体の皆さんから「またモルック大会を開催してほしい」との声が多数あり、今年3月から大会を開催するべく行動を開始しました。大会名は当協会と同じく50周年を迎えた『琉球みやらびこけし』にあやかって【みやらびカップ】と命名!

大会を盛り上げていこうと障害者支援施設 太希おきなわに【オリジナルトロフィー】を作ってもらいました! 通常よりも大きな琉球みやらびこけしがスキttl(ピン)模型と並ぶ姿は圧巻!



また、モルック競技により親しんでもらうために複数の補助具の制作に取り組み、その中でも『ブラインドモルックボード』は視覚障害者の方がコート内のスキttlの位置を触って分かるようにするボードで、うるま市身体障がい者協会の視覚部会の方に実際に試行していただき、実用性を確認したうえで大会でも使用しました。



そして迎えた令和5年6月18日(日)【みやらびカップ】モルック大会当日。県内各地の市町村身協・障害者施設、一般参加も含めて38チーム/114名の参加者が、うるま市具志川ドームに集まりました。会場に用意されたコートの数、なんと10コート!! 沖縄県内の一般の大会でもなかなか見る事の出来ない規模の大会になりました。

競技は予選リーグを10コートで行ない、各コートの上位1チームが決勝トーナメントで争う流れで行ないました。



モルックという競技、相手より先に50点ピツリを目指す競技ですが、勝ち抜いていくチームを見ていると、孤立した高得点のスキttlを果敢に狙っていく姿が見られました。今後、上位を狙う団体の皆さんは、その点を意識しても良いかもしれません。ミラクルが起こることも多々ありますよ!

表彰は一般参加のチームが並ぶ中、西原町身体障害者協会チームが3位に入る健闘ぶり!

また、最後まで残った団体で抽選会を行ない、大会のMVP賞や、モルック用具プレゼントをくじ引きで決定しました。

想定以上に大きな大会となったモルック大会、皆さまの参加及び運営協力ありがとうございました。





### 令和4年度 沖縄県障害者社会参加推進センター 事業報告

#### 【社会参加支援】

#### 1. 沖縄県障害者社会参加推進センター運営

障害者が自立した生活を営むことができるよう、障害の有無にかかわらず安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与することを目的として、県地域生活支援事業の実施、市町村地域生活支援事業の協力、各種団体の活動支援を実施した。

#### (1) 沖縄県社会参加推進協議会及び専門部会



センター事業の企画立案等のため、行政機関、身体、知的及び精神障害者団体により構成している協議会を実施した。

#### (2) 障害者110番事業

障害者及びその家族等の抱える人権問題及び生活支援等の各種相談に専任相談員が応じるとともに必要に応じて専門機関を紹介した。

#### 【日常生活支援】

#### 1. 音声機能障害者発声訓練



疾病等により喉頭を摘出し、音声機能を喪失した方々向けに、食道発声訓練等を毎月4~5回行い述べ317名が参加した。

#### 【芸術文化活動】

#### 1. 第62回沖縄県身体障害者福祉展

令和5年2月1日(水)~2月5日(日)、中城村護佐丸歴史資料図書館において、芸術作品241点の展示を行なった。来場者は472名。併せてオンラインを活用したバーチャル展も行ない、期間内で870回の閲覧があった。



### 沖縄県手をつなぐ育成会

令和5年度定期総会



令和5年5月28日(日)13時30分より、沖縄県総合福祉センター内にて、令和5年度公益社団法人沖縄県手をつなぐ育成会定期総会を開催しました。

国の方針ではイベントにおける人数制限も規制が無くなりましたが、コロナウイルス感染症法上の位置づけが5類に移行後も、沖縄県内では感染者数が増加しています。

その為、医療関係者から強い警告が出されていることを重視し、重症化リスクが高いと推測される障がいのある方やご家族への感染防止を考慮し、昨年同様、出席者の少数化による運営を目的として、事前に総会資料を会員の皆様に送付し、同意した委任状を主とした総会となりました。

今総会は通常と異なり、役員改選や、今年1月に行われた沖縄県公益法人立ち入り検査結果報告を行い、県より指摘を受けた是正改善指導事項の報告後、県育成会の反省による措置及び方針を報告しました。

全国的に高齢化による会員数の減少や、会場よりご指摘を受けた運営資金の圧迫による厳しい運営状況は、私たち県育成会の喫緊の課題であり、その原因追及やそれを打破する試みは新役員に託されております。

障がい者への差別や虐待問題に真摯に取り組み、障がいのある人の命の尊厳、人権擁護や活躍できる社会環境づくり等の共生社会の実現に向けて、総会で頂いたご意見やご指摘を真摯に受け止め今後の活動に邁進してまいります。

### 沖縄県友声会

音声機能障害者発声訓練及び個人指導・相談(発声塾)

このままでは終わりたいくない！  
声は出る、絶対出る！  
リハビリは嘘をつかない！

喉頭がん、咽頭がん、舌がん、食道がん、甲状腺がん等による喉頭全摘で音声機能障がいの方を対象に「発声訓練・個人指導等」を行っています。



【食道発声法・人工喉頭機・シャント発声】  
塾長：田名 勉 講師：清 陸弘、稲福 政栄

開催日時	開催場所
毎月第1~4土曜日 (14:00~16:00)	サン・アビリティーズうらそえ (浦添市宮城4-11-1)



【問い合わせ先】  
・社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会  
TEL: 098-851-3455 FAX: 098-851-3855  
携帯: 090-8294-2290  
E-mail: taiki10@okisin.jp  
・沖縄県友声会 会長: 田名 勉  
住所: 沖縄市高原6丁目7番10号

### 沖縄県脊椎損傷者協会

公共施設のバリアフリー化アクション

不特定多数の県民が利用する公共的施設について、設計段階から障がい当事者の声を反映してほしいと行政にアクションしています。今回は2か所の公共施設についてバリアフリーチェック(意見提言含めて)をしたので報告します。

#### ①那覇市牧志公設市場

沖縄県民の台所といわれる施設。最近では観光客志向への変化もあり、観光資源としても重要な施設のため、設計時に意見提言をしていました。3月のオープンを抑えた2月に事前チェックをしました。基本的な構造はバリアフリーで安心しましたが、お粗末な整備もありました。「バリアフリートイレの手洗い場所の鏡が車椅子ユーザーは映らない」「補助犬トイレは専用化され整備されているが、段差と幅が狭く車いすユーザーは利用できない(補助犬=盲導犬として整備され、介助犬利用する車椅子ユーザーのことは視点が抜けたこと)」建設中でも継続的にチェックする必要性を強く感じました。



#### ②首里城復元に伴うバリアフリー対策の意見交換

令和5年2月28日に首里城でのバリアフリー現地視察&意見交換会が開催されました。これは2021年7月に沖脊協として、首里城復元の際には障害当事者の声を反映してほしいと要望書を提出していたことによる取組みで、沖縄総合事務局担当者の尽力によるものでした。現時点では車椅子対応の整備は対応しているようでホッとしましたが、点字情報含め、視覚障がい対応が不十分だと感じました。



#### ③障がい者駐車場を青色塗装しました

昨年7月から始まった「ちゅらパーキング制度」沖脊協の啓発活動として「青色塗装キャンペーン」を実施することになり、令和5年3月6日に伊良波中学校で第1弾を行ないました。沖縄県の「心のバリアフリー推進事業」の一環として企画提案し実現することができたもので、今後も継続して取り組みたいと思います。





## 6市町村身障協交流会

(豊見城市、中城村、南風原町、南城市、西原町、与那原町)

令和5年7月22日(土)、与那原町上の森かなちホールを会場に『第31回6市町村身障協交流会』が開催されました！この行事は上記の6市町村が持ち回りでこなっています。

交流会の内容も毎年違って、今回は『ボッチャ大会』に！各市町村からの参加者を混ぜてチーム編成を行ないました。顔なじみの人と一緒に「あんたと一緒ね～(;´Д｀)ええ～」と軽口が出たりしながら競技が始まりました。



賑やかな雰囲気ながらも勝負には真剣、また皆さんジャックボールに近づけるのがとても上手で、1投ごとに変わる局面に盛り上がりました。

全12チームの上位3チームには賞品が贈られました。次年度は南城市身協が担当です。どんな交流会になるのか楽しみです！



## ご寄付をいただきました

・令和5年3月23日、国際空手道連盟極真会館沖縄県支部様より、金50,000円の御寄附がありました。

・令和5年5月26日、具志頭給油所様より、金500,000円の寄付がありました。身体障害者福祉活動の向上に役立て有効に使わせていただきます。誠にありがとうございます。



## わったーしんかぬちゃー

★地域身障協や関係団体のご紹介★

今回は、今年度の身体障害者福祉大会・福祉展の開催地となっている恩納村の紹介ですよ～！

### 【恩納村身体障害者協会】

(長堂 正顕 会長)

【会員数】11名



### 【活動紹介】

- ・村内小学校福祉教育の参加
- ・他市町村身体障害者協会との交流
- ・村内保育所交流 ・ピクニック
- ・村老連/身体協作品展示会
- ・各種スポーツ大会等への参加



### 【一言コメント】

・恩納村はリゾートホテルが立ち並び、県内随一の観光スポットとなっていますが、私達身体協は安心して住みやすい村づくりを目指し、恩納村社会福祉協議会と連携しつつ福祉教育にも力を入れています。今年度は恩納村で沖縄県身体障害者福祉大会もありますので、ぜひ恩納村に遊びにきてください(\*^^)v

### 【問合せ】

住所：恩納村字恩納6302 (村社協内)  
 TEL：098-966-1193  
 FAX：098-982-3380  
 MAIL：sango@onna-shakyo.com



※その他の市町村身体障害者協会へ連絡を取りたい！と思う方は、沖縄県身体障害者福祉協会へお気軽にお問い合わせください！お待ちしております！

TEL：098-851-3455 FAX：098-851-3855  
 MAIL：okisin.sub@gmail.com